

## 韓国サマーセミナー体験談

私は韓国の漢陽大学に18日間留学しました。留学するにあたって様々な不安がありましたが、韓国の歴史に以前から関心があったことと、在学中に留学したいという思いから、韓国サマーセミナーへの参加を決めました。

大学の授業では、個人の韓国語レベルに合わせてクラスが分けられ、午前中はクラスごとに授業を受け、午後はトウミと呼ばれる韓国の学生から若者言葉や文化などを教えてもらいました。授業はアクティブラーニングを取り入れていて、毎日楽しく韓国語を学ぶことができました。また、少人数制のクラスということもあり、先生が丁寧に発音や文法を教えてくださいました。宿題の量や単語テストの有無はクラスによって異なりますが、授業最終日には筆記とスピーキングのテストがありました。最初の頃は韓国語が交わされる環境に戸惑いもありましたが、少しずつ韓国語を理解できるようになりました。

放課後や休日はトウミたちと一緒に観光に行きました。ソウルは地下鉄やバスなどの交通機関が発達しており、運賃も非常に安く、簡単に移動することができます。また、授業とは別に様々なアクティビティが用意されており、念願だった韓服を着たことが特に印象に残っています。

留学を通して、語学上達へのモチベーションが上がったことはもちろんですが、実際にその土地を訪れて現地の方と交流することの大切さを学びました。留学前は日本に対して嫌悪感を抱いている人がいるかもしれないと思っていましたが、実際に行ってみると何度も韓国の方の温かさに触れ、狭いコミュニティの中で知らぬ間に偏見を抱いていたことに気づかされました。渡航前は誰もが何かしらの不安を抱えています。しかし、留学してみることが意義があり、その人自身を大きく成長させてくれると思います。18日間はあっという間に過ぎてしまいましたが、とても充実した有意義な夏を過ごすことができました。